

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(教職員公舎)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	職員公舎(教育庁総務課)	秋田市	廃止	除却処分を実施
2	職員公舎(能代工業高等学校)	能代市	廃止	民間等への譲渡を実施
3	職員公舎(大曲高等学校)	大仙市	廃止	除却処分を実施
4	職員公舎(大曲工業高等学校)	大仙市	廃止	除却処分を実施
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・既に廃止済の職員公舎(能代工業高等学校)は、民間へ売却済となっている。
- ・同じく、職員公舎(大曲高等学校)は除却処分を実施している。
- ・職員公舎(教育庁総務課)及び職員公舎(大曲工業高等学校)については、現在入居者がいる状況ではあるが、老朽化が進んでいることから平成29年度末で廃止し、除却処分を実施する。

【個別票】

更新日：H31. 3. 29

1	施設名	職員公舎（教育庁総務課）
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（教育庁総務課）	所在地	秋田市八橋本町 ほか
施設面積	285.74 m ²	建設年	昭和44年
構造・階数	木造1階	台帳価格	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 現在、入居者がいる状況ではあるが、老朽化が進んでいることから、平成29年度末で廃止し、除却処分を実施する。		

3 目標使用年数 【平成30年頃に除却】

現在、入居者がいる状況ではあるが、老朽化が進んでいることから、平成29年度末で廃止し、除却処分を実施する。

4 管理上の課題等

老朽化が進み、日常的な使用については問題はないが、修繕等は必要である。また、利用者が減少し、一部空き家が生じている。
--

5 管理に関する実施方針

老朽化が進んでいることから、必要最低限の修繕を実施しながら、使用する。

6 管理に関する実施計画

職員公舎（教育庁総務課）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	売却		売却済
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	0	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	293	293	293	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3	3	3	

【個別票】

更新日：H31. 3. 29

2	施設名	職員公舎（能代工業高等学校）
---	-----	----------------

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（能代工業高等学校）	所在地	能代市昇平岱
施設面積	302.30 m ²	建設年	昭和41年
構造・階数	木造1階	台帳価格	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 平成28年5月に民間への売却を実施済。		

3 目標使用年数 【平成28年に売却済】

平成28年5月に民間への売却を実施済。

4 管理上の課題等

平成28年5月に民間への売却を実施済。

5 管理に関する実施方針

平成28年5月に民間への売却を実施済。

6 管理に関する実施計画

職員公舎（能代工業高等学校）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	売却		売却済
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	
運用コスト	-	-	-	
修繕コスト	-	-	-	
その他	-	-	-	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

【個別票】

更新日：H31. 3. 29

3	施設名	職員公舎（大曲高等学校）
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（大曲高等学校）	所在地	大仙市大曲須和町 ほか
施設面積	231.19 m ²	建設年	昭和45年
構造・階数	木造1階	台帳価格	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」		
利用者がいないことから、平成28年度に除却処分を実施。		

3 目標使用年数 【平成28年に除却】

利用者がいないことから、平成28年度に除却処分を実施。

4 管理上の課題等

利用者がいないことから、平成28年度に除却処分を実施。

5 管理に関する実施方針

利用者がいないことから、平成28年度に除却処分を実施。

6 管理に関する実施計画

職員公舎（大曲高等学校）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	解体	4,086	解体済
	(合 計)	4,086	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	
運用コスト	-	-	-	
修繕コスト	-	-	-	
その他	-	-	-	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

【個別票】

更新日：H31. 3. 29

4	施設名	職員公舎（大曲工業高等学校）
---	-----	----------------

1 施設の概要

施設名称	職員公舎（大曲工業高等学校）	所在地	大仙市大曲住吉町 ほか
施設面積	255.11 m ²	建設年	昭和44年
構造・階数	木造1階	台帳価格	円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 現在、入居者がいる状況ではあるが、老朽化が進んでいることから、平成29年度末で廃止し、除却処分を実施する。		

3 目標使用年数 【平成30年頃に除却】

現在、入居者がいる状況ではあるが、老朽化が進んでいることから、平成29年度末で廃止し、除却処分を実施する。

4 管理上の課題等

老朽化が進み、日常的な使用については問題はないが、修繕等は必要である。また、利用者が減少し、一部空き家が生じている。
--

5 管理に関する実施方針

老朽化が進んでいることから、必要最低限の修繕を実施しながら、使用する。

6 管理に関する実施計画

職員公舎（大曲工業高等学校）に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	売却		売却済
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	
運用コスト	0	0	0	
修繕コスト	151	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	151	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	270	157	90	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	3	3	1	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(高等学校(廃止済))

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	旧大館桂高等学校 校舎	大館市	廃止	除却処分を実施
2	旧大館工業高等学校 校舎	大館市	廃止	民間等への譲渡を実施
3	旧鷹巣高等学校 校舎	北秋田市	廃止	除却処分を実施
4	旧湯沢商工高等学校 校舎	湯沢市	廃止	除却処分を実施
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

- ・旧鷹巣高等学校及び旧湯沢商工高等学校は統合校整備により平成23年3月に廃止され5年目を迎える。
- ・両施設は、旧耐震設計施設で建物劣化も進んでおり、施設の安全性確保や維持管理が難しいこと、また、施設の再利用計画も望めないため早期に解体・除却を行うこととする。
- ・旧大館桂高等学校及び旧大館工業高等学校は平成28年3月に廃止されまもなく1年を経過する。
- ・両施設は、一部建物を除き耐震改修の実施により施設の安全性は確保されているが、廃校により施設の劣化が進行することから、今後、施設の利用計画が望めない場合は、安全性確保の面から解体・除却の検討を進める。

1	施設名	旧大館桂高等学校 校舎
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	旧大館桂高等学校 校舎	所在地	大館市餅田二丁目3-1
施設面積	11,681.79 m ²	建設年	昭和47年
構造・階数	RC造4階	台帳価格	366,680,005 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 当施設は大館桂桜高校への統合に伴い、平成28年3月に閉校となっている。 現在、グラウンド・テニスコート等の屋外運動施設や弓道場は大館桂桜高校での体育授業や部活動で利用しているが、校舎棟等の主要施設は利用されていない。 今後施設の利用計画が見込めない場合は、施設の保安上・安全面から解体・除却を行う。 		

3 目標使用年数 【平成33年頃解体】

<ul style="list-style-type: none"> 校舎、管理棟等を平成22年に耐震改修を実施し利用していたが、平成28年3月末で廃校となり、グラウンドやテニスコート等の屋外運動施設は統合高校の大館桂桜高校で利用している。 廃校により、建物施設の劣化が進行することから、今後施設の利用計画が望めない場合は、施設の保安管理を行い耐震改修時での国庫補助制限期限（平成32年）経過後に解体・除却を行う。

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> 校舎棟、管理棟棟は耐震改修済みであるが、現在は統合により利用されていない。 弓道場は統合校の大館桂桜高校の部活動で利用しており、現時点での不具合はない。 校舎棟等の未利用施設については、施設の保安上・安全性の確保に向け、定期的に点検を行い破損箇所の有無や劣化状況を把握する必要がある。
--

5 管理に関する実施方針

<ul style="list-style-type: none"> 未利用施設について定期的に点検を行い、保安上・安全性の面で支障がある場合は、修繕等の必要な措置を講じる他、施設の利用計画が望めない場合は、安全性確保の面から解体・除却を進める。
--

6 管理に関する実施計画

旧大館桂高等学校校舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	セミナー、部室棟解体	19,944	
H32	管理棟、校舎棟、体育館等解体(設計費)	26,000	
H33	管理棟、校舎棟、体育館等解体(工事費)	330,000	
	(合計)	375,944	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,271	1,308	1,451	
運用コスト	9,744	8,701	6,087	
修繕コスト	1,145	889	9,558	
その他	0	0	0	
(合計)	12,160	10,898	17,096	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	314	313	289	生徒数、職員数

【個別票】

更新日：H31. 3. 29

2	施設名	旧大館工業高等学校 校舎
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	旧大館工業高等学校 校舎	所在地	大館市花岡町字アセ石 3 3
施設面積	18,345.66 m ²	建設年	昭和 5 5 年
構造・階数	R C 造 3 階	台帳価格	122,391,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	民間等への譲渡を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当施設は大館桂桜高校への統合に伴い、平成 2 8 年 3 月に閉校している。 ・第一体育館、教室棟（一部）は旧耐震基準で建設されているが、他の建物は耐震性が確保されており、他用途への利用は可能である。 ・現在、県での利用計画は無いことから、施設の貸与や譲渡等の検討を行いつつ、今後、施設の利用計画が望めない場合は、安全性確保の面から解体・除却の検討を進める。 		

3 目標使用年数 【平成 3 1 年頃に一部解体】

<ul style="list-style-type: none"> ・今後、施設の利用計画が望めない場合は、安全性確保の面から解体・除却を進める。 ・なお、現在大館市と施設の譲渡協議を行っており、その結果により今後の譲渡・解体計画を進める。

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> ・当施設は大館桂桜高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6 管理に関する実施計画

旧大館工業高等学校校舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	教室棟、体育館を除く全建物及び土地を大館市に譲渡		
H30	教室棟、体育館等の解体（設計費）	5,000	
H30	教室棟、体育館等の解体（工事費）	151,826	H31に繰越
	(合 計)	156,826	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,816	1,866	1,887	
運用コスト	11,887	12,239	9,878	
修繕コスト	2,072	2,947	2,645	
その他	0	0	0	
(合計)	15,775	17,052	14,410	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	392	363	365	生徒数、職員数

【個別票】

更新日：H31. 3. 29

3	施設名	旧鷹巣高等学校 校舎
---	-----	------------

1 施設の概要

施設名称	旧鷹巣高等学校 校舎	所在地	北秋田市脇神字赤川岱 1 9 7
施設面積	7,398.12 m ²	建設年	昭和 4 2 年
構造・階数	R C 造 3 階	台帳価格	145,226,004 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	除却処分を実施

「基本的な方針の考え方」

- ・当施設は秋田北鷹高校への統合に伴い、平成 2 3 年 3 月に閉校している。
- ・施設は昭和 4 0 年代に建築され老朽化が激しく、また、旧耐震基準により建設された施設で転用等は難しい。
- ・そのため、維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。

3 目標使用年数 【平成 3 3 年頃解体】

・老朽施設で耐震性の面から他用途への利用は難しいため、倒壊等のリスク除去のため平成 3 0 年頃を目処に解体を行う。
--

4 管理上の課題等

・当施設は秋田北鷹高校が定期的な見回り等で維持管理を行っているが、無人施設であるため、施設の防犯・保安上の課題がある。

5 管理に関する実施方針

・定期的な見回り・点検等により損傷・破損箇所の有無や劣化状況を把握し、売却・譲渡や解体まで必要な修繕措置等を行う。

6 管理に関する実施計画

旧鷹巣高等学校校舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H32	管理棟、教室棟、体育館等の解体（設計費）	31,062	
H33	管理棟、教室棟、体育館等の解体（工事費）	305,378	
	(合計)	336,440	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	
運用コスト	-	-	-	
修繕コスト	-	-	-	
その他	-	-	-	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

4	施設名	旧湯沢商工高等学校 校舎
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	旧湯沢商工高等学校 校舎	所在地	湯沢市成沢字内森合山4-4
施設面積	9,721.53 m ²	建設年	昭和41年
構造・階数	RC造3階	台帳価格	333,401,007 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
<p>「基本的な方針の考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 当施設は湯沢翔北高校への統合に伴い、平成23年3月に閉校となっている。 管理棟及び教室棟は昭和40年代に建築され老朽化が激しく、また、旧耐震基準により建設された施設で転用等は難しい。 そのため、維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。 		

3 目標使用年数 【平成28年度に解体】

<ul style="list-style-type: none"> 老朽施設のため、倒壊等のリスク除去のため平成28年度に解体を行う。

4 管理上の課題等

<ul style="list-style-type: none"> 老朽施設であり、転用等は難しい施設である。 維持管理コストの低減や倒壊等のリスク除去のため、早期に解体を行う。
--

5 管理に関する実施方針

<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に施設解体を行う。 解体後の空き地については、適切な維持管理を行い売却等の検討を行う。
--

6 管理に関する実施計画

旧湯沢商工高等学校校舎に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	管理棟、校舎、体育館等の解体	334,103	施設解体済み
	(合 計)	334,103	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	-	-	-	
運用コスト	-	-	-	
修繕コスト	-	-	-	
その他	-	-	-	
(合計)	0	0	0	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	